

11 人権・同和教育

(1) 目標

同和問題をはじめとするあらゆる差別を人権にかかわる問題としてとらえ、差別をなくそうとする積極的な態度を養う。

子どもたちを取り巻く社会の現実と課題を直視し、生活の中にひそむ問題や不合理を科学的に認識し、身のまわりの矛盾や差別をなくすよう、集団で取り組める意欲的な子どもを育成する。

(2) 研究の方向

人権教育の大きな目標は、子どもたち一人一人がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるようになることである。それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現われ、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながっていくと考える。

本校の子どもたちは、元気で明るく人なつこい。休憩時間になると、学年を問わず、運動場で元気に遊ぶ姿を見ることが出来る。しかし、他の人の気持ちを共感的に理解する力が乏しく、攻撃的な発言や相手を見下げた言い方など、コミュニケーションをうまくとれていない姿が気になる。さらに、自分の気持ちをうまく表現できず、自分自身をも傷つけてしまう行動をとる子どももいるのが現状である。人に対して攻撃的になったり、人間関係がうまくむすべなかつたりする子どもは、自分への自信のなさをごまかすためにもがいていると見てよいであろう。自分に良いイメージがもてないのである。また、人権アンケートの結果から、「自分のことが好きである。」という感情を持つ子どもが、高学年になるにつれて少なくなっているというデータも出ている。

そこで、自尊感情（セルフエスティーム：人とのつながりの中で自分も他の人も尊重できる感情）を育てていく取組を大切にしていきたいと考えている。自尊感情を身に付けていくためには、まず自分のことを好きにならなければならない。それにはまず、自分のことを知ることから始める。自分のことを肯定的に認め、自分に対して自信を持ち自分自身を価値あるものとして認めていくようにする。自分を好きになると自分のことを大切に思えるようになる。そうすると、自分のことだけでなく、他の人に対しても心を開き相手を大切にすることができるようになる。このことがお互いの人権を認め合うことにつながっていくと考えている。

このことを踏まえ、これまで取り組んだ教材を整理し、『自尊感情の育成と人権意識の高揚』を視点として見直した年間指導計画をもとに、研究授業や実践交流に取り組み、指導の工夫改善を行ってきた。本年度も昨年度同様に取り組んできた実践を生かし、学年間の縦のつながりや、発達段階を意識しながら、研究授業等を通じて、指導の工夫改善に努めていきたい。

(3) 今年度の研究目標

自尊感情の育成と人権意識の高揚。

(4) 具体的な努力点

- ①校内外の実態を知り、児童の生活環境の改善と基本的生活習慣の育成に努める。
 - ・子どもをとりまく地域社会…家庭訪問、調査、学級懇談会、地区懇談会等々
 - ・子どもの生活・・・心身の状況、生活、学力、子ども人権アンケート、行動等
- ②自尊感情を育むため、子ども一人一人が生き生きと生活できる学級集団づくりと、意欲的に学習に参加できる授業づくりに努力する。
- ③児童養護施設の見学を通して、児童の生活を知る。
- ④紀北支援学校との交流を積極的に進め、(4年生の年間交流・6年生に対する出前授業・なかよし集会への招待・職員研修等)、障害者に対する正しい理解と認識を深める。
- ⑤東ブロック・各研究団体と連携し、校内の人権・同和教育の取組を進める。

⑥部落問題学習等の素地づくりとして、人権・同和教材、生活指導、国語科、社会科、総合的な学習などの系統化に努める。

⑦子どもの豊かな成長を願う保護者の要求を受けとめる中で、特に、同和地区独自の課題と教育全般の課題とに整理するとともに学校教育の主体的取組として、PTA活動・地区子ども会・地区PTA活動に協力援助し、保護者との連携による地域の教育力を高める取組を目指す。

- ・PTA文化同和部・・・地区懇談会、講演会
- ・学級・・・・・・・・・・学級懇談会、人権に関する授業参観

(5) 学年目標

〔低学年〕自分や友だちのよさを見つけ、だれとでも仲よくし、助け合おうとする態度を育てる。

- 1年 みんなとなかよくする。
- 2年 みんなとなかよく力を合わせる。

〔中学年〕相手の気持ちを考え、自他を大切にしようとする態度を育てる。

- 3年 友達の気持ちを大切にし、助け合う。
- 4年 相手を思いやる心をもって協力し合う。

〔高学年〕人権尊重の立場に立って、偏見や差別の不合理を理解するとともに、自分たちの力で望ましい集団生活を築こうとする態度を育てる。

- 5年 相手の立場に立って考え、励まし助け合う。
- 6年 認め合い、励まし合いながら共に伸びる。

(6) 取組と大切にしてきたこと

一学期

- ・人権同和教材の整理・現地学習会
- ・子ども人権アンケート(1回目)
- ・地区懇談会についての討議(5月下旬～6月)
- ・地区懇談会
- ・人権研修
- ・東ブロック人権教育講演会
- ・一学期人権同和教育の取組の交流

二学期

- ・夏期研修のまとめ・報告
- ・指導案の抽出見について(家庭環境・その他、援護、学園、子ども会等)
- ・人権に関する授業参観・懇談
- ・人権・同和教育講演会(日曜参観)
- ・東ブロック人権教育研究協議会
- ・人権同和研修(職員) 二学期人権同和教育のまとめ

三学期

- ・一年間の人権学習(投げ入れ教材)のまとめ
- ・子ども人権アンケート(2回目) 一年間の反省
- ・人権同和教育のまとめ

(7) 自尊感情育成のブロック別目標～自尊感情のさらなる育成を目指して～

関わりで育てる自分・友達・人権意識

低 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のよいところに気づく。 ・まわりの人から愛され、大切にされてきた自分に気づく。 ・様々なことに挑戦し、最後までやり遂げた達成感を感じる。
中 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のよいところに気づき受け入れようとする。 ・家族や地域の人から愛され、大切にされてきた自分に気づく。 ・様々なことに挑戦し、学級の課題を解決した達成感や成就感を感じる。
高 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の長所も短所も肯定的に受け止めようとする。 ・家族や地域の一員として支えられていることに気づく。 ・自己の設定した目標に到達したり、学級や学校の困難や課題を解決した達成感や成就感を感じる。

学校としての具体的な取り組み

- ・生活班は男女関係なく組ませる。
- ・授業では男女共に「さん」付けをする。
- ・男女混合名簿・男女混合の並び方を継続する。

大切にしたいこと

○一人ひとりを大切にする授業作り

実態把握（学力・友達関係・家庭環境・身体・遊び等）

評価・支援の仕方（グループ学習・ペア学習・個別学習）

○お互いのよさを認め合える仲間作り

個々の違いを認める（背・体重・眼鏡・肌の色・アトピー・遺伝等）

○安心して過ごせる教室（集団）作り

命を大切に（性教育・平和学習・植物・飼育等）

言葉・言葉遣い

(8) 自尊感情と人権意識を高める具体的な場と取り組み

【日常活動で】

【生活・総合・道徳・特活】

学年	
1年	<p>朝・はい、元気です。すきな〇〇は…。</p> <p>終・いいところみつけ</p> <p>休・みんな遊び</p>
2年	<p>終・今日のキラリ</p> <p>休・みんな遊び</p> <p>給・給食では、当番の人を席に配膳する。</p> <p>・牛乳かんぱい会（お誕生日を祝う）</p>
3年	<p>朝・フリートーク</p> <p>休・みんな遊び</p>
4年	<p>朝・フリートーク</p> <p>終・今日のキラリン</p> <p>・今日のMVP</p> <p>・「成長」ノート（自分自身と向き合う）</p> <p>休・みんな遊び</p>
5年	<p>朝・フリートーク</p> <p>終・今日のキラキラ</p> <p>休・みんな遊び</p>
6年	<p>朝・フリートーク</p> <p>終・そうじじまん</p> <p>休・誰でもチャンピオンになれる〇〇大会（じゃんけん大会、けんけん相撲大会等）</p>

学年	生活・総合	道徳・学活
1年	・学校たんけん	・お誕生日会
2年	・高齢者と交流	・いいところみつけ
	・町たんけん	・お誕生日会
	・みんなおおきくなつたね	
	・あそび大すき	
3年	・校区たんけん	・いいところみつけ
	・校区じまん	・お誕生日会
4年	・児童養護施設見学	・お誕生日会
	・支援学校との交流	・宝物を紹介しよう。
5年	・児童養護施設見学	・いいところビンゴ
	・支援学校との交流	・未来日記（願いを言葉に）
		・好きなこと・とくいなことを教えてあげよう
6年	・地域の歴史	・自分の長所・短所について考えよう
	・一年生との交流	・いいところみつけ
	・保育所との交流	・お誕生日会
なかよし	・分校との交流	

朝朝の会 終終わりの会 休大休憩・昼休憩 給給食